

令和2年度 自己評価 報告書

学校番号	106
------	-----

自己評価

学校教育目標	<p>企業就労による社会自立に向け、高い志を持ち、専門性の高い知識・技術を身に付け、地域や社会に貢献できる人間性豊かな生徒を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 夢や目標の実現に向け、様々な活動に挑戦し、自ら選択・判断できる生徒 2 専門性の高い知識・技術及び態度を身につけ、社会人・職業人として社会自立できる生徒 3 豊かな人間関係を築き、進んで地域や社会に貢献できる生徒
今年度の学校経営目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 職業自立・社会自立を実現するための実践的な教育の推進 2 身を守るための教育の推進と危機管理体制の構築 3 地域や企業との連携強化 4 働き方改革の推進と保護者との連携強化
今年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業後に企業就労し、社会の一員として活躍できる力を身に付けるため、実践重視の教育を推進する。 ○卒業後に自立した社会生活を送るため、トラブルやリスクから身を守る教育を行う。また、PTAや地域等と連携し、学校における危機管理体制を強化する。 ○コミュニティ・スクール制度を活用しながら、地域との交流事業を充実・強化する。また、学校から企業に働きかけ、障がい者雇用の推進と雇用環境の改善を図る。 ○職員の意識改革を推進することにより勤務時間の適正化を図り、積極的に保護者と意見交換を行うことにより風通しのよい学校環境を確立する。
評価する領域・分野	教育方針、進路指導
現状及びアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・三者懇談や進路懇談において、卒業後の進路実現に向け、保護者とともに生徒本人の実態やニーズを把握し指導・支援を行っている。 →アンケート項目「学校の教育目標や指導方針の内容に共感できる」「授業や学校行事等を参観する機会を設けて、教育活動について積極的に公開している」「職業自立・社会自立を実現するための実践的な職業教育を進めている」は、肯定的な回答の割合が90%以上であった。 ・進路日より、学年通信等で進路に関わる情報発信をしたり、現場実習・企業内実習先の情報を速やかに本人、保護者に伝えたりしている。 →進路指導に関する情報提供等の項目における肯定的な回答の割合が80%を超えていた。さらに生徒の実態や本人・保護者のニーズに対応した具体的な情報提供を行っていく必要がある。
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・各分掌、学年会、教科会において、卒業後に自立した社会生活を送るために必要な力について検討 ・教育課程検討委員会、職業教育推進委員会、専門コース主任会において職業教育の在り方の検討
目標の達成に必要な主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・企業内実習、現場実習、専門コース校外実習等の充実・強化 ・命を大切に教育、性教育、情報モラル教育の計画的・継続的な実施 ・保護者への情報提供の充実、PTA活動の活性化支援
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のニーズ、実態を踏まえた実習を実施し、卒業後の進路決定に向けて成果や課題を明確にすることができたか

	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に応じて命、性、情報モラル等に関わる教育を計画的・継続的に実施できたか ・定期的な懇談会の実施、通信等により、保護者に情報提供をすることができたか
主な取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の専門コース関連業種事業所における企業内実習の実施 第1期：10月実施 第2期：12月実施 第3期：2月中止 ・2年生、3年生の現場実習の実施 2年生 第1回：7月27日から1週間 第2回：10月19日から2週間 3年生 第1回：7月6日から2週間 第2回：9月7日から2週間 ・命を大切に作る教室開催（6月） ・性教育を保健、LHRで実施。性の相談週間実施 ・LHRやLINE講師による情報モラル教育の実施 ・三者懇談（5月、10月、3月）、進路懇談（8月、1月）に実施
評価の視点	評価
① 教育目標に基づいた教育活動を計画・実施できたか	Ⓐ B C D
② 教育活動、進路に関わる情報発信ができたか	A Ⓑ C D
③ 生徒の勤労観や職業観を高める教育活動が展開できたか	A Ⓑ C D
成果・課題	総合評価
<p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教育活動の制限等がある中、感染症対策を徹底しながら、オンライン学習等ICTを活用した学びを展開することができた。</p> <p>○三者懇談や進路懇談の懇談日数、時間を増やし、保護者との連携を深めることができた。</p> <p>○コロナ禍であったが、これまでに進路開拓した事業所等で現場実習を行うことができ、12月末までに3年生の進路先を決めることができた。</p> <p>▲生徒の就労への意識、社会人に向けての心構えをより高める支援の工夫が必要である。</p>	A Ⓑ C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、感染防止対策の徹底を図りつつ、コロナ禍における生徒の学びの充実を図るため、教科の授業等におけるICT活用を推進するとともに、情報モラル教育をはじめとする情報教育の充実、教員のICT活用指導力の向上を目指す。 ・職業教育を中心にしながら、教育活動全体を通して卒業後に働く人、働き続ける人になれるよう、生徒一人一人の実態や課題に応じ、具体的な指導内容を検討し、全職員で指導・支援を行う。